


第29代内閣総理大臣 犬養毅の生家地

犬養家旧宅



指定区分	県指定史跡
読みかた	いぬかいけきゆうたく
所在地	岡山市北区川入
指定年月日	昭和52年4月8日
解説	第29代内閣総理大臣であり、五・一五事件で「話せばわかる」の言葉を残して青年将校の凶弾に倒れた犬養毅の生家。犬養家は代々、庭瀬藩の庄屋を務めていた。国重要文化財に指定されている主屋は、江戸時代中期の大庄屋の屋敷構えを伝える建物である。
アクセス方法	岡電バス・両備バス・中鉄バス「庭瀬本町」から徒歩12分 / JR庭瀬駅から車で5分
公開状況	【犬養木堂記念館】入館9:00～16:30 / 無料 / 休館:火曜、祝日の翌日(土日は除く)、年末年始
設備	トイレ 
備考	

## きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	犬養家旧宅
よみかた	いぬかいけきゆうたく
しょざいち (所在地)	岡山市北区川入
していたひ (指定した日)	昭和52年4月8日
せつめい	<p>犬養毅(いぬかいつよし)は昭和時代(しょうわじだい)のはじめごろに内閣総理大臣(ないかくそうりだいじん)だった人です。岡山市庭瀬(にわせ)の出身です。反乱者(はんらんしゃ)によって犬養毅が暗殺(あんさつ)されたことは、五・一五事件(ごいちごじけん)として有名です。犬養毅が生まれた家は、もとは庄屋(しょうや)で、今でも江戸(えど)時代中ごろの屋敷(やしき)がきちんと残(のこ)されています。となりにある犬養木道記念館(いぬかいぼくどうきねんかん)では犬養毅のことを学ぶことができます。</p>